

# 生活情報科通信 11



にしわき産業フェスタ▶▶▶11月17日(日)オリナスホール

2024年11月20日発



<ハードな2学期でした・・・>

10/12	フィールドパピリオンフェスティバル：神戸
10/20	ピンクガーデンフェスティバル：社ステラパーク
10/20	でんくう祭り：田園空間博物館（道の駅）
10/26	播州織フェア：オリナスホール
10/27	みらフェス：ミライエ
10/29	LGBTQ プレゼン：大阪スイスホテル
11/4	追手門学院大学 文化祭：総持寺キャンパス
11/9	多可町ふれあい祭り：ガルデン八千代体育館
11/10	アートフェスティバル：西脇市市民体育館
11/16	兵庫県総合文化祭：神戸ハーバーランド
11/16	繊維学会高校生セッション：京都テルサ会館
11/17	西脇産業フェスタ：オリナスホール

追手門学院大学 文化祭▶▶▶11月4日(月祝)総持寺キャンパス



播州織ワークショップ



西脇高校生活情報科の皆さん

今日はすてきなショーに参加させていただき、有難うございました。製作や準備等、本当に大変だったと思います。高校生のパワーに感動しました。子どもたちにも丁寧に接して下さり、安心しておまかせすることができました♡

子どもにとってはもちろん、私たち家族にとっても良い思い出です。本当にありがとうございました。

…キッズモデルに参加して下さった保護者より…



あたたかいお手紙  
ありがとうございました！

多可町ふれあい祭り▶▶▶11月9日(土)ガルデン

・来てくれた人が笑顔で帰っていくのを見て、すごくうれしくなりました。私はあまりワークショップに参加することができなかったのですが、楽しそうにリースを作っている子どもたちを見ていて、完成してすごい！とか可愛い！と言ってくれているのを見て、よかったですと思いました。

・先輩たちの飾ってある衣装を見て、すごく興味を持ってみてくれたり、すごいなと言いながら近くでみたりしていて、そんなたくさんにすごいと思われる衣装を作れる先輩みたいになれるように、これからもっと頑張りたいと思いました。



・今回のイベントで、いろいろな所を見て回っている時に、制服を見て「何をしているの?」とか「頑張ってるね」と言ってく下さって、嬉しかったのがすごく印象に残っています。地域の方が期待してくれたり、応援してくれているので、それに応えられるように、これからも頑張りたいと思います。

## アートフェスティバル▶▶▶11月10日(日)



初めてファッションショーを見てくださった方も多く、すごいねと言っていただき嬉しかったです。いただいた花束をピロティに飾って、横でウォーキング練習しています。



## 古民家アトリエ ▶▶▶11月9日(土)



3年生 7人  
1年生 5人  
コットンのプロジェクトを作りました。いろんなタイプの可愛いものができていて…すごいです!

カフェのお手伝いも、少し慣れてきましたが、いろいろなことに対応するのは難しいです。協力して、みんなができるように、情報を共有して頑張ってください。



## 兵庫県高等学校総合文化祭▶▶▶16日(土)

神戸ハーバー



## 外部講師授業 足立珠希さん



## 繊維学会▶▶▶11月16日(土) 京都テルサ会館

高校生セッション「綿から紡ぐ文化の伝承と地域への愛着」



繊維学会の高校生セッションで、たくさんの高校の発表を聞きました。面白くて興味をもって聞いたものや、難しすぎて分からないものもありましたが、どの研究も、背景→目的→実験、結果、考察・展望の一連の流れがしっかりしていました。自分たちの発表も、科学的な実験はあまりしていませんが、発表自体に筋が通っていて、目的に応じた研究ができたと思えました。

今日の研究までの準備段階で、グループで行っていたので、役割分担と責任をもって行うことが大切だったと思えました。しかし、役割を把握できていなかったり、2人に任せっきりになっていたことは、反省すべきだし、グループワークを通して、誰かに任せるとはせず、グループの一人として役割を把握し、責任をもつことが大切だと改めて実感しました。休日や放課後に残って、原稿やPPを作ったので、できたという達成感と、準備から発表の中でたくさんのことを考え、多くの学びを得ることができました。次は、小学生に実際に糸を紡いでもらうキットを配布して、たくさんの人に糸車やコットンに触れてもらうことが、今後できることだと思うので、計画を立てて、来年のコットン班に引きついていきたいと思えます。

・短い期間で文章やプレゼンを仕上げていくのは、とても大変でした。やっていく中で、自分たちの目的は何か、伝えたいことは何か、考えることがたくさんあり、今まで何となく取り組んできたコットン班の活動や地域交流は何のためにしているのか、改めて考えることができました。学会での発表は、カイコや綿についての実験やおもしろい発表ばかりでした。私たちの発表に興味をもってくださった大学の方との交流が広がったことも嬉しく思うし、今後さらに生活情報科の活動が広がり、もっとたくさんの活動ができるといいなと思えました。

・サルトリイバラの抗菌性とその応用・綿糸の性質・炭素繊維を用いた燃料電池の開発・キュプラの分解条件の探索・小麦のふすまを用いた新たな生分解性素材の開発・カイコにおける合成色素の輸送経路の解明・カイコの記憶の定着 他

## SDGS 防火服

ラジトピ

ラジオ関西『Clip』トコトン兵庫

